



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012 年度

# 広島北ロータリークラブ週報

2012年6月21日発行 Vol. 1316

国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー氏  
国際ロータリーテーマ  
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために  
Reach Within to Embrace Humanity

■会長 高原 宏之 ■幹事 栗屋 充博  
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F  
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530  
E-Mail hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/  
例会場 ホテルグランヴィア広島 広島市南区松原町 1-5

■本日の例会 2012年6月21日(木) 第2091回  
ロータリーソング 「手に手つないで」  
来客紹介 ロータリー家族親睦委員会  
会長時間  
幹事報告  
委員会報告  
ニコニコ箱  
卓話時間 『退任挨拶』  
会長 高原 宏之 会員

■前回の例会 2012年6月14日(木) 第2090回

ロータリーソング 「われらの生業」  
来客紹介 ロータリー家族親睦委員会  
入会式  
会員誕生祝い  
連続出席表彰  
会長時間  
幹事報告  
委員会報告  
ニコニコ箱  
卓話時間 『退任挨拶Part2』  
理事役員委員長

## 入会式

杉山 浩一 会員  
あいおいニッセイ同和損害保険(株)  
執行役員中国本部長



推薦者: 古谷会員、高原会長

会員一同、ご入会を心より歓迎いたします。



## 誕生日お祝い



左から、  
桑村 守 会員  
神農 洪明 会員  
おめでとうございます！

## 連続出席表彰



左から、2年島本会員、4年塩本(能)会員、7年中根会員・栗屋会員・下前会員、17年山坂会員、27年山本正会員、高原会長

## 会長時間 会長 高原 宏之

広島も先週末に梅雨入りし、むし暑い日々が続きますが、皆様におかれましてはお元気でお過ごしのことと思います。  
本日は、杉本浩一氏さんを会員としてお迎えし、入会式を行うことができました。杉山さんのご入会を心から歓迎いたします。  
先週に引き続き、理事役員の方々から退任の挨拶があります。お一人お一人に感謝しながら、お伺いしたいと思っています。  
私の会長年度も、残るところ実質 2 週間程になり、マラソンで言えば、スタートを切ったスタジアムに戻ってきた、という所でしょうか。残る区間、会員の皆様には、本当にこのクラブに入っていてよかったと実感していただけるよう、私自身、悔いが残らぬような充実した日々を過ごしたいと思っています。  
今週は長寿の県についてその実態を報告します。  
長野県は日本では昔から、日本のなかでは長寿県だと言われていました。男性では全国平均男性78.79才に対して全国一位で79.84才を示し、女性でも全国一位の沖縄の86.88才に対し長野では86.48才で、毎年5位以内の好位置を占めています。  
豊かな自然環境に加えて、長野県各自治体の健康作りへの取り組み、積極的な医療政策、そして県民の健康意識の向上が寄与しているとされ、一見しますと、長生きであると医療費が高いだろうと思われがちですが、一人あたりの医療費は何と全国で最下位に位置しています。医療体制で見ましても医師数、病院数、病床数も少なく、これも最下位近くです。  
長野県では、持ち家比率が高く、離婚率が低く、高齢者の一人暮らしが少ないのも特徴です。長野県人は働く方が多く、農業を中心に65歳以上の30%が現役で働いておられます。食生活については、「県民生活改善委員会」があり、県民減塩活動を企画し、

米飯を勧め、肉よりも魚、そして大豆製品、自家製野菜を奨めています。面白いことに、沖縄県と同様に、豚肉を好み、牛肉はあまり食べない習慣があるそうです。これは豚肉と牛肉との栄養価の違いだと思います。

## 幹事報告 幹事 粟屋 充博

- ◇次年度連続出席表彰バッジ選択申込書(BOX配布)
- ◇ロータリーの友(BOX配布)
- ◇IM報告書(BOX配布)
- ◇広島14RC合同懇親ゴルフ大会報告書(BOX配布)

## 委員会報告

ロータリー家族親睦委員会 神農委員長

例会終了後、委員会を開催します。

職業奉仕委員会 丸本委員長

職業紹介誌最終校正についてお願い

社会奉仕委員会 山下 江委員長

東日本大震災被災地応援訪問の報告

次年度ニコニコ委員会 山下正司委員長

本日18時30分より第2回次年度ニコニコ委員会をホテルグランヴィア広島地下1F「炎」において開催します。

次年度出席委員会 桑村委員長

次年度連続出席表彰バッジについてバッジ選択申込書をBOXに配布しております。提出のない場合は通常通り「数字入りバッジ」をお渡し致します。

次年度幹事 山内会員 被選理事会開催案内

## ロータリーの友誌6月号紹介

会報IT委員会 杉町 孝 会員  
ロータリー友誌の紹介です。6月はロータリー親睦月間です。それにちなんだ記事を最初に紹介します。

### 《横書き》

P11～17 同論・異論のタイトルで今回のテーマは「ロータリーでいう親睦とは？」とあります。会員さんの意見が忌憚なく投稿されており、このタイトルは好きなページの1つです。お勧めします。

P18 「ロータリーの友」を語る。とあります。

友誌の地区代表委員が、友誌の編集や苦労話など語っております。『友』はロータリーの情報の源であると、また皆様ご存知の通り5月から当クラブも公式ページとして活用しておりますfacebookの利用もうたっております。私も今年度この委員会になり深く読み始め、改めて良い雑誌だなと思いました。

P46 「ロータリー徽章」

ロータリーバッジのデザインの変遷が掲載されており大変面白いなと思いました。現在のロータリーバッジが1920年およそ90年まえには確立されていたのには驚きました。また、ケンタッキーフライドチキンの創始者、カーネル・サンダース氏もロータリアンで、店頭においてあるカーネルおじさんの人形の襟にはロータリーバッジが付いているそうです。知りませんでした。皆さんも機会があれば確かめてみては？

### 《縦書き》

P21左上「満100歳の記念祝賀会」とあります。

徳島北RCの木村晴夫さんが満100歳と載っています。素晴らしい事だと思います。我がクラブからも是非100歳の会員さんが誕生しますよう願っております。岸本会員頑張ってください。

P33左上「都道府県対抗男子駅伝・広島安佐RCが応援！」

当クラブの孫クラブである安佐RCが、毎年1月に広島で開催される、全国都道府県対抗男子駅伝に出場する広島チームを応援している記事が載っておりますのでご紹介致します。

以上

## ニコニコ箱

## ニコニコ委員会

### 【自主出宝】

高原会員・大之木会員・粟屋会員・岡部会員・合田会員

杉山さん、当クラブへのご入会、おめでとうございます。これから一緒に活動できるのを楽しみにしています。

杉山会員 本日より入会をさせて頂きました。1日も早く皆様に覚えて頂けるよう頑張ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

古谷会員 本日、あいおいニッセイ同和損害保険株の杉山氏が入会することになりました。前任の杉本氏同様宜しくお願いします。

山坂会員 杉山さん入会おめでとうございます。

土井会員・大之木会員・塩本(能)会員・山下(江)会員・粟屋会員・山内会員・迫会員・岡部会員・合田会員

6/7・8・9二泊三日にて震災被災地の視察に参りました。気仙沼南RCの方々、又、漁業関係者の方とも面談し、寄贈した漁具等も見て参りました。漁具がしっかり役に立っている事も確認できると同時に今後も息の長い支援が必要と実感しました。

吉永会員 先日、東北復興応援ツアーにご一緒させて頂きありがとうございました。ご一緒させて頂いた皆様によくして頂き、本当に色々な経験をさせて頂きました。今回の経験を今後の人生に生かして行きたいと思ひます。これからも宜しくお願いします。

庄子会員 本日、ロータリー財団常任委員長の退任挨拶をさせて頂きます。一年間ご支援頂きありがとうございました。

粟屋会員 今日退任の挨拶をさせて頂きます。皆様には1年間お世話になり、ありがとうございました。

山本正会員 ◆ 連続出席、43年の岸本さん、41年の吾郷さん、山本忠男さん、36年の久永さんには遠く及びませんが、小生は本日27年になりました。あと、3年元気で長生きすれば連続出席30年、北RC在籍35年、金婚式(結婚50年)を迎える事が出来ます。せつかくここまで来られたので、何がなんでも頑張ります。

下前会員 連続出席7年の表彰を祝っていただきありがとうございます。これからも一生懸命がんばります。

島田会員 失念していたのですが、先週は、退任挨拶をさせて頂きました。ありがとうございました。又、先週のニコニコの発表の時、「上野学園ホール」の命名権の件を間違えて「水野学園ホール」と言ってしまいました。大変失礼いたしました。

高原会員 ◇ ①大変蒸し暑い気候になって参りました。会員各自の体調管理には万全を期して欲しいと願っています。②気仙沼に行かれた方々、大変ご苦労様でした。次回の例会での発表を今から楽しみにしています。

吉永会員 合田会員、仙台での国分町の夜は楽しかったですね。先ほどは思い出の品ありがとうございました。また行きましょう。

当日計 29,000円(内、web8,000円) 累計 1,273,100円

★=10,000円 ☆=5,000円 ◆=3,000円 ◇=2,000円

## 卓話

### 『退任挨拶 Part2』



大之木雄次郎 会員

副会長・理事・会員組織常任委員長

今年度は高原会長の「友愛と分かち合いのこころの輪を広めよう」という運営方針の下で、副会長の職を務めさせて頂きました。副会長の最大の努めは会長の補佐やご不在時の代理でございますが、私にそうした出番が殆どなかったことは、北クラブにとりまして大変喜ばしい事であ

ろうと思っております。一年間、皆様のご協力ありがとうございました。



**土井 洋二 会員**  
理事・奉仕プロジェクト常任委員長

一年間、四委員会の委員長、副委員長、始め委員の方々、又それぞれ委員会活動に参加頂いた多くの会員の皆さん方に感謝申し上げます。本年度は委員会が一つ増えて、どんな事業を進めていけばいいのか、思いつかないまま、各委員長におまかせしようと、たかをくくっていましたが、チェンジメーカー賞への挑戦などもあって俄然各委員長さんは張り切られて、次々計画を立てられ実行して頂きました。感謝申し上げます。又、特に申しあげますが、会員の皆さんには、東北震災復興支援のため多くの寄付を頂き、先日も気仙沼に行き参りましたが、漁師の方々からも感謝の言葉を頂きました。誠に有難うございました。何はともあれ無事各行事が、滞りなく終了致しましたことを重ねて感謝申し上げ、退任挨拶とさせていただきます。



**丸本 佳生 会員 職業奉仕委員長**

今年度職業奉仕委員会として5つの事業を行いました。事業内容報告と挨拶をさせていただきます。

1つ目は毎月第1例会にて会員全員で「四つのテスト」を唱和し高い職業倫理意識向上に努めました。

2つ目はチェンジメーカー賞を獲得しました。

3つ目は、職場訪問例会を2度行い参加された多くの会員様にはご好評を頂きありがとうございました。

4つ目は会員の会社紹介を①卓話及び②小冊子の作成を実施しました。昨年8月18日から、「お互いをもっと詳しく知ろう」というタイトルで、会員の職業を再確認でき「相互の理解」を深めて頂く卓話を、高原会長を始め、15名の会員の会社紹介卓話を実施しました。卓話をして頂いた、会員様の会社や個人の事がより理解できた事と思います。

②小冊子について、会員皆様の会社の仕事内容や個人を紹介する冊子を作成しております。良いものが出来ておりますので楽しみにしておいて下さい。出来次第お配りする予定です。

5つ目は広島国際大学心理学部から、学生向けに講演依頼を受けました。趣旨「ロータークラブ会員を始め企業経営者からの応援メッセージ」として職業奉仕委員会から理事会に挙げさせて頂き、岡部副幹事に講演をして頂きます。

以上、副委員長の鶴飼会員には「やり過ぎ」とかなり言われましたが、土井常任委員長を始め、委員の皆様と一つになって、また他の委員会の援助も受けまして、会員皆様のご協力今年「数多くの事業」を無事に取組めたこととはとても感謝しております。1年間ありがとうございました。



**山下 江 会員 社会奉仕委員長**

社会奉仕委員会は4つの方針を掲げて1年間活動してきましたが、いずれも方針通り実現することができました。

第1. 東日本大震災復興支援。

①2012年2月、気仙沼南RCと連携し、被災地の漁業関係者(宮城県漁業協同組合大谷本吉支所)に対し、津波で流された漁具(万丈かご、イサダかご、ロープ

100万円相当)を寄贈しました(現地の新聞で報道された)。同年6月7日～9日、当クラブ14人で仙台・気仙沼に訪問し、気仙沼南RC・同漁業関係者との交流を深め、被災地の現地を視察しました。一層の支援のために、例会で集めた募金20万円を同クラ

ブに渡しました。

②同年4月、盛岡西北RCの呼びかけに応え、ソーラー街灯1本の設置支援(35万円相当)を行いました。

③WPO(NPO法人美術品保全機構)の「絵画を東北に贈ろうプロジェクト」に協力し、会員から30枚を超える絵画等を集めて、WPOを通して宮城県南三陸町の仮設住宅に寄贈しました。

第2. 省エネ推進。

環境保全・省エネのため、例会会場の設定温度を26度ないし28度に設定してもらいました。2011年7月～10月及び2012年5月～6月、スーパー・クールビズ(ノーネクタイ・脱上着など)を実施しました(環境省提唱)。

第3. 認知症問題への取り組み。

地区運営方針のひとつ「認知症の人と家族を地域社会として支援することを学ぶ」を実践するため卓話を3回実施しました。

①法律的観点から。2011年12月15日「認知症めぐる法律問題について～成年後見制度と高齢者の保護～」(講師:一般社団法人人生安心サポートセンターきりり理事長・司法書士 橋口貴志氏)

②医療的観点から。2012年2月9日「認知症を知ろう」(講師:よしなが神経内科クリニック 院長 好永順二氏)

③介護施設関係者から。同年4月19日「認知症ケアの現場から」(講師:社会福祉法人東城有栖会・特別養護老人ホーム シルトピア油木 理事(施設庁) 高梨廣子氏)

第4. AED寄贈

2011年9月5日、広島県社交飲食生活衛生同業組合(社交組合)と連携し、新天地交番(広島東警察署)に対し、AEDを寄贈しました(44万1000円相当)。なお、社交組合にはメンテナンス費用を負担してもらうことになりました。新天地集会所にて、AED操作・心肺蘇生法講習会も行いました(新聞・テレビで報道された)。

震災復興支援は引き続き行っていただけだと思います。また、今回のAED寄贈へは前年度(第1回目)の本通り商店街に次ぐ事業であり、第3回目も検討していただければと思います。



**久保雅史 会員 国際奉仕委員長**

チェンジメーカー賞を達成するために3点の事業を必達することを確認し、委員全員の協力と土井理事の指導の元、(1)RI長期計画の一つであるポリオ撲滅活動への寄付 (2)GSEメンバーのホストファミリーとしての受入れ (3)バンコクで開催された国際大会への9名の参加などの事業を達成いたしました。

お蔭様で国際奉仕活動への多少なりとも貢献ができたのではと思っております。一年間、会長、幹事様を始め皆様から頂いたご協力ご支援に感謝を申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



**石井 清司 会員 新世代奉仕委員長**

色々情報収集をしながら事業内容を決めましたが、三育学院の奉仕活動に出会い、12月14日に県民文化センターでのチャリティコンサートへの協賛と、多くのクラブメンバーの参加を頂く事が出来ました。

さらに、11月19・20日に山口で開催されたRYLAに息子と2人で参加し、「日本を経営してみませんか」のテーマで研修を受けました。息子は結構刺激を受けたようでした。今年には宮島で開催されるようなので、興味がある方は近い若者と参加されると良いと思います。



**庄子佳良 会員**  
理事・ローラー財団席委員長

一年間、常任委員会の活動に、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。財団プログラムの山下正司委員長と、米山奨学会の中根委員長のご尽力を頂き、また地区学友会に対しましても、ほとんどの会員の皆様からご寄付を頂き、初期の目標を達成できましたことを心から感謝申し上げます。御礼申し上げます。

来年7月1日から始まる「未来の夢計画」につきましては、まだまだ勉強不足で、皆様に充分なご説明ができなかったことを反省しております。詳しくは後ほど各委員長からご報告があらうかと思っておりますが、1年間の皆様のご協力に、重ねて御礼を申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。



**山下正司 会員 財団プログラム委員長**

年次プログラム基金への寄付及びボリオ撲滅2億ドルチャレンジへの支援も皆様のご協力により目標を達成することが出来ました。また、米山奨学委員会と協力してローラー財団常任委員会のフォーラムを開催しました。しかしながら、ローラーカードの登録を増やすことが出来ませんでした。一年間ご協力頂き本当にありがとうございました。次年度以降についても引き続き

温かいご支援をお願い致します。



**中根弘幸 会員 米山奨学委員長**

米山奨学委員会は、実は少し特殊な委員会です。米山奨学生を受け入れたらカウンセラーの仕事は4月に始まり、3月に終わります。そこで、この数ヶ月間は開店休業状態でした。

今年度は、車智任さんという米山奨学生の受入クラブになり、私がカウンセラーを担当しておりました。韓国のテグ市から来た

可愛いお嬢さんです。日本でも就職活動をしていたのですが、果たせず、韓国に帰国したときに偶然就職が決まったとの報告を受けています。10年前と比べて、米山の財政状況は厳しくなってきました。今年度は、人数は800人で(かつては1000人)、大学院生で、奨学金14万円(かつては、15万円)のようです。財政事情が厳しい中、中国を始めとするアジアからの留学生を受け入れて支援することは、やはり意義があることだと思っております。米山は、財団プログラム委員会と同じで寄付をお願いする委員会です。今年度も、財団共々皆さんに特別寄付をお願いし、皆さんから快く寄付をいただき、地区目標を達成することが出来ました。本当に感謝しております。色々物いりとは思いますが、次年度以降も米山や財団への特別寄付へのご理解をお願いします。今年一年本当にお世話になったことを感謝して、私の退任挨拶とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。



**山本忠男 会員**  
姉妹クラブ友好特別委員長

この委員会は、年に一度、両クラブが交互に姉妹クラブの継続調印式を行うお世話をする担当委員会です。今年度は京都にて行いました。京都で行う第23回京都伏見RCと広島北RCの継続調印式のため、昨年9月30日に当クラブより多数の

出席があり京都に行きました。京都駅には、伏見RCの方達が出迎えに来て下さいました。例会場に入り、例会では両クラブの会長による継続調印式が行われました。無事終了し、皆で拍手をしました。例会終了後は、観光に出發し、保津川下りを楽しみ、高雄山にある「もみじ家」の川床にて懇親会を行いました。いつものように京都で味わう芸子さんと舞妓さんの踊りを見たり、お酒のお酌を受けたりして楽しく過ごしました。少し疲れましたが、その日の内に元気に広島に帰って来ました。参加者の皆様に厚くお礼申し上げます。



**神農洪明会員 ローラー家族親睦委員長**

いろんなところで、いろんな方にお世話になることがあっても、あまりお世話をしたことのない私が親睦委員長など務まるのか大変不安でありましたが、久保田理事の指導の下、山本(正)会員、原田会員の両ベテランの恩恵を受け、又、泉副委員長をはじめ委員の方の協力を得、ローラー家族親睦委員会の行事も、あと最終例会を残すのみとなりました。これまでの行事の中でも会員の皆様方の多大な協力と指導をいただきまして、心より感謝しております。ほんとうに有難うございました。



**伊藤 保 会員 副SAA**

坪内S.A.A.長に言葉巧みに誘われ、副S.A.A.を引き受けた伊藤です。「副」とついても例会での任務はS.A.A.長と同じです。この一年、任務を全うできたかと問われると、自信を持って「はい」とは言えません。当初は、諸先輩に対しなかなかモノを言えないというのが本音でした。しかし、広島北RCは、経験の少ない私でも、自分の意見を言いやすい人たちばかりです。

この一年、例会の運営にご協力いただきありがとうございます。京都から3年という約束で広島に向向に来て、3年が過ぎましたが未だに、帰って来いとも、期間延長とも言えませんので、もう少しお付き合い願います。これからも宜しく願いいたします。



**栗屋充博 会員 理事・幹事**

理事・役員、委員長の皆様を始め、会員の皆様方には1年間本当にお世話になり、ありがとうございました。

至らぬ幹事でしたが、皆さまのお陰で何とかゴールにたどり着くことが出来ました。

自分なりに一生懸命務めさせて頂いたつもりですが、今振り返ってみると、「ああすれば良かった」「こうするべきだった」と反省することがいくつもあり、皆様には申し訳なく思っています。

ただ、幹事役を務めさせて頂いてこの1年間、奉仕事業や親睦行事、はたまた会員増強活動などクラブの行事・活動の殆ど全てに関わらせて頂き、改めて当クラブの素晴らしさ・魅力を実感致しました。何かしたい時、何かをしなければならぬ時、「知らんよ」と無関心を装うことなく、「本気でやるんならええよ」と必ず多くの方々から寄り添って下さるのが当クラブの最大の魅力だと思います。色々、又、たくさんの御迷惑をお掛けしたにも拘わらず、温かく見守り、助けて下さった皆さんに心より御礼を申し上げます。最後になりましたが、高原会長、一年間本当にご苦労さまでした。また、ありがとうございました。高原会長の何事にも全力で誠心誠意取り組まれるお姿に敬服し励まされて、私も真剣に頑張ることが出来ました。

会員増強始め、様々な活動で私を支えて下さった大之木副会長と、どんな時でもこの1年間ずっと私に寄り添い、助けて頂いた岡部、合田両副幹事にも心から御礼を申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。



**岡部 知之 会員 副幹事**

最初はとても不安でしたが、皆様のお力添えを賜り何とか無事1年を終えようとしております。この1年の出来事を振り返り記憶に残ったことを述べたいところですが、とても2分では収まりません。栗屋幹事に度々某高級焼肉店で沢山飲ませていただいた超高級ワインの思い出、地区大会前夜祭で大之木副会長の前で

堂々と浴衣をはだけながら眠る合田副幹事などなど、いろんな思い出の中で1つだけお話して退任の挨拶といたします。RI年次大会バンコクから帰る機内での出来事。もうすでに皆さんはご存知と思いますが、私の隣にお座りになられていた高原会長が1人のタイ人女性の命を救われた感動的な一件がありました。その後、空港に着き、荷物を待っている時に空港内アナウンスで「〇〇便にお乗りになられていた岡部知之様」と呼び出されました。恐る恐る近くにいたスタッフに「私です」というと、私の座席に、タイで使いきれなかった1160パーツを落としていたとのこと。「あっ、すいません僕のです」と取りに行きました。本来であれば「いやいや、機内でうちのクラブの会長が女性を救助した後、素晴らしい賞賛を機内アナウンスしてくれたのに対するチップです」と粹に言うべきだったなと後悔しました。まだまだ未熟者で、もう1年副幹事を務めればもっと良い仕事ができると思っておりましたが、別の新しい任務をいただいておりますので、次年度も頑張ります。ありがとうございました。



**合田 尚義 会員 副幹事**

副幹事を拝命し、大きな緊張感とプレッシャーと共にスタートした今年度ですが、今振り返ってみれば、あっという間の1年間であったと感じます。また同時に、1年間、副幹事職を通じて本当に色々や良い経験や勉強をさせて頂き、私の今後のロータリーライフに向けての大きな節目となる一年、実りの多い一年であったと思います。

今年度、一緒に執行部を務めさせて頂きました高原会長・大之木副会長・栗屋幹事・岡部副幹事の皆様方、本当に色々とお世話になり、ありがとうございました。心から感謝を申し上げます。また委員会や同好会などで色々ご指導頂きました会員の皆様方、大変ありがとうございました。北クラブの皆様方に心からの感謝を申し上げまして、退任の挨拶とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

**菅 雅則 会員 プログラム委員長**

高原会長年度のプログラム委員長をさせて頂きました、菅です。各委員会から希望、情報が適格に出され年間を通して早めにプログラムを組むことができました。久保田担当理事、越智副委員長はじめ各会員様の御協力ですらぬ委員長を助けて頂き、何とか一年を務める事が出来ました事に感謝致します。有難うございました。

理事・役員・委員長の皆様、1年間大変お疲れ様でした。



**東日本大震災被災地 復興応援訪問記**

2012年6月7日(木)から同月9日(土)まで、当クラブの会員・事務局総勢14名にて、東日本大震災被災地へ、復興応援のため訪問しました。その主たる目的地は、気仙沼でした。

①6月7日(木)仙台まで

伊丹空港から仙台空港まで約1時間30分の飛行でした。仙台空港では、迫会員の会社の仙台所長がマイクロバスを用意してくれておりました。9日までの3日間の移動は、このマイクロバスにお世話になりました。感謝。



最終目的地は気仙沼でしたが、仙台も被災地の一つです。仙台の復興応援をかねて、仙台名物牛タンを十二分に味わうべく、牛タン屋にて懇親会を盛大に開催しました。仙台の街は、活気を取り戻していたように思いました。

②6月8日(金)気仙沼にて、養殖漁業者・気仙沼南RCと交流。

翌8日、バスにて、高速道と山道を通って約2時間半。予定通り11時に、同クラブの「絆委員会」委員長の小野寺洋一郎さん、同クラブ会長小野寺隆さんと合流でき、気仙沼の松岩漁港に向かいました。同漁港では、松岩漁業協同組合所属の養殖漁業者の方たち、同クラブの会員の方たちが待っていておりました。そして、この度の当方からの寄贈物件など案内し説明をしていただきました。

まず、作業小屋。これは、2710地区として寄贈したものであり、この中で作業を行い、また、漁具などの収納の役割を果たしているとのことでした。

当クラブが寄贈した万丈かご、イサダかごも見せていただきました。すでにこの2月からのワカメ養殖に使用されており、役に立っていることが確認されました。

同じく当クラブが寄贈したロープは、まだ小屋のなかで、出番を待っていましたが、確認できました。養殖漁業関係者の方達が、津波が来たとき避難したという同小屋のすぐ裏手の小高い丘(古い神社が建っている)に案内してくれました。



ここに33名が逃げたが、津波は足下まであと40センチメートルのところまで来たとのこと。逃げた全員の命はかろうじて助かったが、この丘は陸の孤島となり翌朝まで皆で励まし合って過ごした。翌朝に潮は引いたが、家々がすべて流されており、丘の周辺は、がれきでいっぱい道路もなく避難が大変だったことなどが話されました。

同漁港周辺には建っている家はなく、家が流されたあとの土台だけが残っている状態でした。



その後、近くの食堂にて、養殖魚業者4名、気仙沼南RC会員12名と当クラブ関係者14名にて、昼食を取りながらの懇親会が開催されました。



気仙沼南RCの小野寺 隆 会長が、当クラブからの寄贈と訪問へのお礼を述べられました。その後、当クラブの大之本副会長が、テレビや新聞では知っていたが被災の現場を直接見てその大変さを改めて実感したこと、当クラブの支援が役立っていることを確認できて嬉しいことなどを話されました。

漁業協同組合の方は、当クラブからの寄贈品について、涙ながらにトツツとお礼の言葉を述べられました。当クラブ会員は皆、寄贈して良かった、訪問して良かったと、心底思いました。

社会奉仕委員長の私も、このプロジェクトが、「絆委員会」委員長小野寺洋一郎さんを始め気仙沼南ロータリークラブの協力により実現できたことへのお礼を述べるとともに、広島からの牡蠣養殖支援、フェリー貸与支援などが行われており、気仙沼と広島との絆を感じることに、引き続き、応援していきたい旨述べさせていただきました。

当クラブの久保田会員からも是非発言したいと申し出がありました。久保田会員は「広島に原爆が落ちたとき自分は13歳であり、かろうじて命は助かった。広島はそのとき全滅状態だったが、現在立派に発展している。気仙沼も必ず復興できる。がんばってください。」と述べられました。参加者全員、深く感動したのでした。

そして、当クラブの例会において集まった募金を復興支援寄付として気仙沼南クラブの方に渡し、また広島から持ってきたもみじ饅頭をお土産として皆さんにお渡ししました。

楽しい昼食会のあと、海岸線に沿って、南三陸町、石巻市へと南下して行きました。いたるところに、コンクリートの土台だけが残った家々、寸断された橋、寸断された道路、がれきの山などが見受けられ、地震・津波のすごさを感じさせるものでした。と同時に、随所で復旧工事が行われており、復興への息吹も感じられました。



夜、仙台に到着。仙台一と言われる「勝山館」(しょうざんかん)にて、当クラブ内の懇親会が行われました。その後、元気な方は、明け方まで懇親を深めたのでした。

### ③最終日6月9日(土)松島訪問

気仙沼訪問も無事に終えたので、少し観光をして帰ろうということで、朝9時バス出発。仙台城跡を訪問したあとで、日本三景の一つ、松島に行くこととなりました。

しかし、松島でも被災の跡が。昼食をとった食堂は、津波で1階が海につかったとのことでした。入り口のドアには「前進 松島」との張り紙がありました。

また、13人乗り遊覧船をチャーターして、松島湾内をクルージングしましたが、名物の島も津波にやられ、復旧工事が行われたとのことでした。

松島観光も復興に役立っていることを確認し、仙台空港から広島への帰路についてのでした。

今回の仙台・気仙沼訪問は、当クラブの東日本大震災復興支援事業の一環として行われたものです。当クラブの引き続いての支援を始めとして、みなのお応援により東日本の復興が実現できることを祈念します。



※紙面の都合上、文章を一部割愛しておりますので、ご了承ください。

### ■出席報告

2012年6月14日(木) 会員数 82名

出席 67名 欠席 15名

来客 4名

5月31日(木)修正後出席率 98.74%

5月度平均出席率 97.47%

### ■来客紹介

佐藤 悟朗 様(広島RC)

榎本 暢之 様(広島東RC)

高橋 心里 様(広島東南RC)

上原 悠爾 様(広島中央RC)

### ■次回例会 2012年6月21日(木)

卓話:「退任挨拶」

会長 高原 宏之 会員

食事:幕の内